平成２０年5月１９日

各　　位

会　社　名　　東 京 貴 宝 株 式 会 社
代 表 者 名　　代表取締役社長　　中 川 千 秋
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　７５９７）
問 合 せ 先
役職・氏名　　取締役 経営統括副本部長　　染　未 良生
電　　話　　０３－３８３４－６２６１

平成 20 年３月期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年３月期(平成 19 年４月１日から平成 20 年３月 31 日)の業績において、平成 19 年 11 月 15 日付、当社「平成 20 年３月期中間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想と、下記の通り差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 20 年３月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前 回 予 想 （A）	9,025	100	131	112	25 円 20 銭
今 回 修 正 （B）	8,534	62	50	26	５円 93 銭
増　減　額 （B－A）	△ 491	△ 38	△ 80	△ 86	－
増　減　率 （%）	△ 5.4	△ 37.7	△ 61.4	△ 76.6	－
（ご参考）前期実績（平成 19 年３月期）	10,738	93	101	90	20 円 17 銭

２．修正の理由

売上高につきましては、第４四半期においてはサブプライムローン問題の影響や金・プラチナ等の貴金属原材料の高騰などによりジュエリーに対する個人消費マインドは予想以上に落ち込んでしまい、通常卸売、催事販売ともに売上数量が当初の見込み以上に大きく減少してしまいました。売上高の減少に伴う減収分を補うべく経費削減に取り込んでまいりましたが、営業利益の落ち込みをカバーするまでは削減効果をだせませんでした。

また、経常利益の落ち込みが営業利益より大きい理由は、当期取得した本社ビルの管理費及び修繕費を全額「販売費及び一般管理費」で計上していたものを、期末において投資不動産として資産計上している部分について「営業外費用」に振り替えたものであります。

当期利益については、売上減に伴う減益、株価の下落に伴う投資有価証券評価損を計上したほか、商品評価損の繰延税金資産の資産性計算について、より厳格に計算したことにより取崩しが生じたことによるものであります。

以上